



荒川区西日暮里2-55-1  
国鉄労組東京地方本部  
発行責任者 鎌田博一  
編集責任者 常盤達雄

No.1778

2015年  
1月5日

# 国労加入を 大胆に訴えよう

向上の実現に向け、全力を挙げていきます。次に、今日的な政治反動と平和と民主主義の課題についてです。

安倍反動内閣は、「特定秘密保護法」制定をはじめ、消費税増税、労働法制改悪等々、国民生活の破壊と政治の反動性を一段と強めてきています。昨年七月一日には世界に誇れる平和憲法を踏みしじり「集団的自衛権行使容認」を閣議決定しました。歴代政権の憲法解釈を覆し、一内閣の独断により強行することは立憲主義の否定であり、断じて容認できません。沖縄辺野古新基地建設の推進やオスプレイの広範な飛行訓練の強化と合わせ、「日米ガイドライン改定」を目論むなど、日米軍事一体化の動きを強めています。さらに原発再稼働・輸出政策に邁進するなど、再び人類と地球環境を脅かす行為を本格化させています。また、成長戦略と称して「世界で一番企業が活動しやすい国」を掲げ、労働法制の規制緩和を推し進め、「労働者派遣法改正案」の成立を目論むなど、予断を許さない状況です。昨年、地方本部は、「集団的自衛権行使容認阻止！ 残業代ゼロNO！ 憲法改悪を許さない」国労東京八・二二集会を開催し、闘い抜く決意を全体で固め合っていました。私たちは、労働法制・社会保障制度改悪や反戦・平和の課題を、全国各地で闘う広範な仲間と連帯し、さらなる取り組みの強化を図らなければなりません。

最後に二〇一五年春闘は、生活できる賃上げ要求の実現を求める闘いを中心に、職場労働条件改善と安全・安定輸送の確立、組織強化・拡大の取り組み等と結合させ、展開していくことが求められています。また、格差是正と非正規雇用労働者の均等待遇、憲法改悪阻止・反戦・平和、脱原発など、国民的諸課題とも連動させた取り組みになることは明らかです。地方本部も、職場からの春闘再生と地域春闘の強化・発展に向け、組織の総力を挙げていきたいと思っております。当面する諸課題の実現に向け、組合員・家族の皆さんの先頭に立つ決意を申し上げます。二〇一五年新年のご挨拶とします。

# 2015年

# 安全・安定輸送と 労働条件改善に 全力をあげよう！

組合員・家族の皆さん、新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり、地方本部を代表し挨拶を申し上げます。

はじめに、昨年は二月十四日投票で総選挙が実施されました。この総選挙は、格差と貧困を拡大する新自由主義路線を許し、安倍政権の暴走を継続させるのか、それとも雇用の安定と働くルールの確立、社会保障の拡充、平和憲法を生かす勢力を伸ばすのかという重大な「国民投票」だったと言えます。しかしながら自民党が圧勝する結果となりました。今後、消費税一〇%増税や生活保護切り捨て、原発再稼働、憲法改正などの動きをより強めてくることは明白です。私たちは、想定される政治動向に労働組合の社会的責務として、勤労国民・労働者の立場に立った社会の実現に向け、闘いをより一層強化していくことが求められています。

次に、緊急かつ最重要課題である組織強化・拡大の取り組みについてです。

地方本部は、昨年一年間、各分会をはじめ各級機関・組合員の奮闘により一〇名の新たな仲間を国労へ迎え入れることができました。私たちが苦悩しながらも、信頼される労働組合としての国労を築き上げるために、職場や仕事の中心軸となり、仲間の声や気持ちを共有化し、職場改善を進める分会・職場活動を取り組んだ結果が拡大に結びついてきました。労働条件・職場環境改善の闘いと組織拡大の取り組みは、一体であることを再確認し、これまでの経験や教訓を組織的に検証し、意思統一を図る中で、拡大運動を具体的に追求していかねばなりません。何よりも、平成採用の青



## 日常的な取り組みの強化を 執行委員長 鎌田博一

とは程遠い現実に直面しています。こうした背景には、コスト削減を基本とした相次ぐ効率化・外注化があり、総合的な技術力の低下など偏重した施策が大きな要因だと考えます。JR貨物においても、要員配置と作業の見直し、多能化による働き度の向上など全系統にわたり際限のない合理化施策が押し進められています。

安全・安定輸送の確立は、基幹的輸送機関としての社会的使命であるだけに、JRの社会的責任の履行やコンプライアンス経営の推進など「安全が最優先される」企業風土の定着と合わせ「安全の点検者」としての労働組合の任務と役割が極めて重要になっていきます。安全を担保する労働条件改善や要員の確保、技術継承・人材育成や教育の充実を求めていくためにも、引き続き「安全・仕事総点検運動」を全職場から展開し、職場労働条件



国鉄労働組合東京地方本部

執行委員長

鎌田 博一

執行副委員長

稲荷 靖

書記長

松川 聡

財政部長

田中 克幸

組織部長

小澤 一雅

教宣部長

常盤 達雄

政治部長

中澤 和夫

福対部長

山田 博樹

法対部長

恒本 肇

調査部長

横倉 一夫

執行委員

岡野 嘉明

執行委員

岸本 靖夫

会計監査員

広瀬 裕二

青年部長

岡田 直之

青年副部長

吉田 茂

書記局

中嶋 健太

書記局

木村 洋希

書記局

新井 清一

書記局

井口 栄子

書記局

小川美智子

【アベニール(株)東京営業所】

市村 和子

社員

市村 和子

社員

高橋 勝

社員

丸山みどり

社員

丸山みどり

社員

丸山みどり

社員

丸山みどり

社員

丸山みどり

会長

羽切 信夫

# 定期大会開催

## 10月加入の小松さんも参加

自動車支部

自動車支部は、一月四日に東京地本会議室において、第七一回定期支部大会を開催した。執行委員長あいさつで、丸山委員長は、組織拡大をはじめ、労働条件、安全運行、平和と民主主義、原発、集団的自衛権、そして目前に迫った衆議院議員選挙など様々な問題にふれ、あいさつをおこなった。また、大会には、一〇月に国労加入した東京支店の小松さんも参加し、国労組合員として頑張ることを表明した。

ある行路がある。さまざまな職場状況や、取り組みが出された。役員改選では、丸山委員長、唐沢副委員長は留任したほか、副委員長には新たに、唐沢恒夫さんを選出した。



丸山委員長と小松さん

討論の中では、各代議員から「先日引き継いだ便が一時間遅れてきた。一年前に訓練で一度だけ行った系統で、初めて乗務し道を開きすぎ」「夜行の高速便明けまで期間が開きすぎ」「夜行の高速便明けで、一般路線に乗せられる。抗議しこの行路はやめさせた。労働組合があったから撤回させられた」「無呼吸症候群の検査で、治療が必要と診断されて治療に行かない社員は、乗務停止にする方針」「人が足りず、休日出勤が月に四日ある。一方、東京へ行って、折り返しの待ち時間が一三時間も

# 原発被災地

## 視察

### フクシマ交流

東京地方本部は、一月二九日〜三〇日に行われた、本部主催の「第二回国労フクシマ交流・視察学習会」に参加した。原発事故被災地の現状視察や、現地からの報告や交流に参加し、現地組合員の激励を行うとともに、今後の取り組み強化などの意思統一を全体で行った。

福島駅に集合し、車で原ノ町駅に向かった。現在列車が運転されていない小高駅・浪江駅や沿線の視察を行い、原発事故から手付かずの街を目の当たりに見た。途中、双葉町〜富岡町付近の国道六号線は、



ずれたままの常磐線の橋台

開通はしたものの、放射線量が高く、バイクや歩行者は通行禁止で、車も駐停車・降車が禁止されており、あらためて原発・放射線の恐ろしさを実感した。

翌日は交流学習会で、国労議員団の狩野平和フォーラム事務局次長から「放射能汚染と食の安全について」の講演、高橋生平和大使の吉田有紗さんからの報告などが行われ、あらためて全体で原発への取り組みの意思を固めた。



震災以来停まったままの車両

# 東貨協

## 定期委員会

### 賃金削減を許さない

東京貨物協議会は、一月六日東京地本会議室において、第二七回定期委員会を開催した。

主催者挨拶で長島議長は「貨物会社は賃金削減攻撃をかけてきており、更なる手当削減も狙われる中、国労の奮闘が求められる。要求前進のためには、国労運動の正当性を訴えながら組織拡大を。安倍自公政権の暴走で国民の生活は破壊され、集団的自衛権の行使容認など危険な方向に。政治を転換するためにも衆議院選挙闘争が重要」などの挨拶を行った。

委員会議長には、隅田川機関区寺原委員を選出。橋本事務局長より方針案の一括提案がされ、討論が行われた。「年末手当獲得に向けて分会門前ビラ配布行動を行った。一方他労組は、アキラメ感が蔓延。職場が外注化されているが、貨物会社自体は賃金抑制で、出向先会社の方が期末手当が高い。労働条件に格差もあり、出向社員の労働条件改善を」(川崎車両所)。「新入社員が他労組に一〇〇%加入が当たり前となっていない中、これを許さない闘いを。公平な事前説明と国労差別をさせないための組合説明会の開催を求めているが、会社からはぐらかされてきた。引き続き粘り強く訴えていきたい」(隅田川駅)。「三人の組織拡大。組織拡大での悩みはどこでもあると思うが、できることを粛々とやっていけばよい。労働条件が切り下げられる中、他労組組合員からも悲鳴がきこえ、会社の施策はいずれ破たんする。加入したくてもできない青年はいくらでもおり、後ろ向きにならずにできることをやっていくことが重



第27回東京貨物協議会定期委員会

要」(大宮車両所)。「春闘に向けた分会での署名の取り組みや、集会の参加率アップに向け奮闘したい。構造矛盾の解消なしに鉄道の黒字化などありえず、闘いの展望がもてる学習会を開催してほしい。出向会社は休みが四日少なく、年配者は金よりも休みがほしい」(新鶴見機関区)。「退職者が出て補充されず要員が逼迫。片道

# 東京交運

## 定期大会

東京交運協は一月二四日〜二五日に伊香保温泉で第三三回定期大会を開催した。大会では、さまざまな政策・制度要求実現に向けた取り組みが議論され、安全の確保に向け行政・事業者・労働組合が一体となって取り組む事、輸送障害対策としてホーム柵の設置が求められているが、経費が多大で補助制度や税制措置を求めたい事、鉄道社員への暴力行為防止に向けて、警察官の巡回強化・警備強化の費用補助などさまざまな諸課題の要求実現に向けた運動展開について、方針が採択された。



打ち上げられたままの船



**アフラック最新のがん保険、新登場。**

通院・入院・抗がん剤・診断一時金

**NEW!** **生きるためのがん保険 Days**

女性特有のがんにも手厚い **NEW!** **生きるためのがん保険 Days**

アフラックのがん保険に、契約の目標に **NEW!** **生きるためのがん保険 Days+**

はじめてダック

■募集代理店(アフラックは代理店制度を採用しております)

**アベニール株式会社** TEL 03-3437-6810

〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3F FAX 03-3437-6822

(引受保険会社) 「生きる」を創る。 **Affac** アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)

東京第二法人営業部 〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル17F Tel.03-3344-1429 Fax.03-3344-4036

※広告掲載日:2014-09-04 14:09:33 8/23日

**国労東京 スキー大会**

**2月17日(火)〜18日(水)**

**湯沢パークスキー場**

**参加費:14,000円**

**申し込みは各地区本部・支部へ**

新議長には長島利行さん(大井機関区・再任)、副議長に古賀将也さん(川崎車両所・新任)、事務局長に中村誠さん(東京保全区・新任)が新たに就任となり、因泥副議長と、橋本事務局長が退任した。

三時間の遠距離通勤を強いられる仲間もあり、改善してほしい(新鶴見駅)。「一〇月の台風で東海道線が土砂崩壊し、一〇日間運休。会社は休養の指示を乱発。長時間拘束にもかかわらず、超勤支払いを免れようと必死。会社は、乗務員の些細な取扱いミスもすべて報告を求め、正しい報告をしても更なる追及。精神的な負担。新入社員への組合説明について、会社は認めることを約束」(大井機関区)。など六名の委員から、職場の闘いと国労への要望について発言があった。その後、長島議長より上部機関と連携した労働条件改善、組織強化拡大、賃金削減を許さない闘いの提起とともに集約が行われ、満場一致で方針案を採択。団結ガンバローで定期委員会は終了した。